



▲ホタルが入った虫かごを手渡す同小学校の児童（右）

今年もホタルを届ける

城河原小学校・城河原地域づくり振興会による“ホタル便”

五和町の城河原小学校6年生9人が6月8日、地元で捕獲したホタルを福岡県福岡市にある国立病院機構福岡病院に入院している子どもたちと、同病院に隣接する福岡市立屋形原特別支援学校の児童に贈りました。これは、同小学校と城河原地域づくり振興会が、天草エアラインの協力を得て天草～福岡間を往復する飛行機“ダッシュ8”を利用して毎年行っているもの。

同小学校の児童からホタルが入った虫かごを受け取った子どもたちは、興味津々のようすでホタルをのぞき込んでいました。

海を越えて友好親善を深める

第60回三地区親善体育大会

歴史的・地理的に密接な関係を持つ本市と鹿児島県阿久根市・出水郡長島町が、いっそうの友好親善を深めることを目的に毎年持ち回りで開催している「第60回三地区親善体育大会」が7月8日、牛深総合体育館を主会場に行われました。同大会には、バレーボールや剣道、野球など13種目に約440人が出場し熱戦を展開。参加者は、「楽しく交流ができてよかった」と話していました。

なお、結果は本市が3年ぶりに総合優勝を果たし、2位は出水郡長島町、3位は阿久根市でした。



▲熱戦が繰り広げられた剣道競技



▲“山王権現”を訪れる参加者

ふるさとの歴史を再発見！

福連木史跡巡りウォークラリー

6月10日、天草町福連木地区で「福連木史跡巡りウォークラリー」が開かれ、20人が参加しました。これは、福連木里づくり振興会が、ふるさとの史跡を巡ることで昔の生活や出来事を再発見してもらおうと、初めて開催したもの。この日は晴天に恵まれ、参加者は福連木小学校の周辺に点在する“山王権現”や“尾上家本家跡”などの史跡6カ所を散策。地元の言い伝えなどに詳しい参加者からの説明を聞きながら、思いおもいのペースで歩を進めていました。

本渡に泊まって、タコ釣りをしませんか

天草ほんど夏休みわくわくタコ釣り体験始まる

天草ほんど観光旅館ホテル組合などでは、本渡地区の旅館やホテルなどに宿泊した観光客を対象に、8月31日まで「天草ほんど夏休みわくわくタコ釣り体験」を実施しています。

7月7日には同体験を広くPRするため、報道関係者など40人を招いてタコ釣りが行われました。参加者は、佐伊津漁港を出港しタコが生息する沖合いでタコ釣りをスタート。マダコやイイダコなどを次々と釣り上げていました。参加申し込みなどの詳細は、同組合☎☎5368へ。



▲釣り上げたタコを披露する子どもたち

健康づくりの大切さを知る

天草市健康フェスタ

6月9日、五和体育館で、同24日、河浦町の一町田公民館で「天草市健康フェスタ」が開催されました。これは市が、生活習慣病や歯科疾患の予防など、日ごろの生活習慣をふりかえる機会として毎年実施しているもの。各会場には、歯の無料検診をはじめ健康相談・禁煙情報コーナー、運動器具が設置され、参加者は歯科医師や保健師、健康運動指導士などの指導を熱心に受けながら、自分の体の状態をチェックしていました。



▲禁煙情報コーナーのようす

助け合いの大切さを学ぶ

宮野河内小学校・最後の「通学合宿」

河浦町の宮野河内小学校5・6年生10人が、6月10日から同15日まで宮野河内公民館で「通学合宿」を行いました。これは、宮野河内地区振興会が、助け合いの大切さを学んでもらおうと毎年実施しているもので、同校が来年3月に閉校するため、今回が最後の開催となりました。期間中は、児童たちが同公民館で寝泊りをして学校へ通学しながら、朝・夕食を作ったり、近所の民家でお風呂に入る“もらい湯”をしたりするなど、共同生活を実施。また、最終日には日ごろの感謝の気持ちを込めて、保護者やお世話になった同地区振興会のスタッフを招待して、手作りのカレーをふるまいました。



▲いっしょになって料理をする児童